

広島大学大学院統合生命科学研究科 第25回 細胞生物学研究室セミナー

2024年10月25日（金）16:30～18:00

理学部 E 棟 210 号室

小幡 史明 博士

理化学研究所生命機能科学研究センター
栄養応答研究チーム チームリーダー

アミノ酸による寿命制御機構

我々の健康寿命は食環境により大きく影響されます。特に三大栄養素であるタンパク質を制限することにより、様々なモデル動物の寿命が延長することが知られています。摂取されたタンパク質は体内で20種類のアミノ酸に分解・吸収されたのち、それぞれがシグナル分子として生体機能を調節することが示唆されてきました。しかし、どのアミノ酸がどのようなメカニズムで寿命を制御するかについては、未だ不明な点が多くあります。私たちの研究チームでは、遺伝学および栄養生理学的研究の優れたモデル動物であるショウジョウバエを用いて、アミノ酸による寿命制御の分子機構を解析してきました。本セミナーでは、メチオニンやチロシンなどのアミノ酸が個体寿命を制御する機構について我々の知見を踏まえてご紹介致します。また、幼虫期の一過的な栄養制限によって寿命が延長する、未発表の「栄養プログラミング機構」についても議論致します。

*** 本セミナーは統合生命科学研究科プログラム共同セミナーの対象です。**

学部学生・大学院生・教員、参加自由です。

皆さまのご来場をお待ちしております。

連絡先：大学院統合生命科学研究科・生命医科学プログラム 細胞生物学研究室

千原崇裕（内線：7443） tchihara@hiroshima-u.ac.jp